

5. 展示の基本的な考え方

(1) 基本方針

①展示の具体化に向けての視点

- 集客性向上の観点から、博物館の低・未利用者や子ども、観光客なども楽しめ、驚きと感動を与える展示を展開します。

“わかる”はおもしろい!

知的エンターテインメントとの出会い

札幌の自然・歴史・文化をさまざまな関連性を通して“わかる”、学際的な探求のおもしろさを知的エンターテインメントとして展開します。

夢中になるほど楽しい!うっとりするほど美しい!

理屈抜きで楽しい!本物が持つ圧巻の臨場感

本物が持つ資料の存在感だけではなく、空間全体を使った演出や、体感的な手法などにより、思わず夢中になるほど楽しく、美しい自然史の世界に飛び込めるような臨場感を演出します。

人と未知との出会いの場

利用者が主体の活動が見える展示

地域の学習拠点や、市民の自主的活動の知恵袋としての活動など、利用者が参画する利用者主体の博物館活動が見える展示を展開します。

②札幌ならではの展開に向けて

何を(内容)

札幌の自然・歴史・文化、そして人の関わりについて、自然史の視点から札幌の独自性に迫る。

誰に(対象)

幅広い人々を対象としながら、集客性向上の観点から、博物館への関心が低い低・未利用者や旅行者も楽しめることを重視。

どのように(演出・手法)

光や音、映像、デジタル技術などの演出・手法を用い、感性を刺激し、多くの人に感動を広げる展示を展開。

③さっぽろの独自性を示すテーマの整理

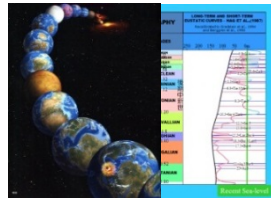
- 『(仮称)札幌博物館基本計画』においては、札幌の独自性や魅力を伝えるため、基本テーマ「北・その自然と人」に基づいた、札幌の自然・歴史・文化の独自性を5つのテーマで構成し、様々な手法を用いて展示するとしていました。その後、パブリックコメントなど多くの意見を取り入れ、平成27年に作成した『(仮称)札幌博物館基本スキーム』において、札幌の自然・歴史・文化をそれぞれテーマ別に編成し直し、3つのテーマとしました。この3つのテーマは、『(仮称)札幌博物館基本計画』においてまとめた5テーマの内容をすべて網羅しています。
- 時系列に沿った展示展開の場合、博物館の意図する順路どおりにすべての展示を観ることによって内容を理解するのが一般的ですが、(仮称)札幌博物館では今回のテーマの再編によって、3つのテーマのうちどのテーマ展示から観ても学ぶことができ、滞在時間に応じて観るテーマを絞っても理解できる仕組みとしました。

(仮称)札幌博物館基本計画

- ①石狩低地帯が形成される1億年をアニメーションで紹介
- ②札幌の山や川や台地の形成過程を映像化



- ①生命の誕生から人類までを代表的な岩石と化石で解説
- ②札幌で世界が注目する化石が産出する理由を映像化



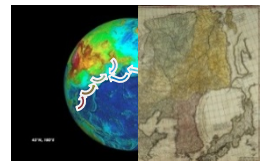
- ①豊平川の氾濫によって形成された地形形成過程と立体模型
- ②自然と共生した暮らしを自然史の視点で展示



- ①札幌の「北方系」「南方系」の自然と文化に関する展示
- ②札幌独自の文化形成に関する自然背景を紹介



- ①札幌の街の歴史との関わりを紹介
- ②札幌の街並の形成をジオラマ展示



1
自然景観の形成

2
生命と生物の進化

3
自然と人類の共生

4
さっぽろの交流史

5
さっぽろの形成史

(仮称)札幌博物館展示・事業基本計画

導入展示 北緯43°の街

キーワード **札幌を学び楽しむヒント**
導入部として、博物館のガイダンス*と札幌を学び楽しむヒントを提示

テーマⅠ 札幌の生命と進化

キーワード **札幌の巨大化石**
なぜ札幌から巨大生物が誕生したのか、北海道・札幌の成り立ちから生物巨大化の謎に迫る

テーマⅡ 札幌の自然

キーワード **北と南が出会う街**
なぜ札幌の自然は人々から愛されるのか、札幌独自の魅力的な自然をその成り立ちから謎に迫る

テーマⅢ 札幌の街と人

キーワード **150年で200万都市**
なぜ札幌は世界有数の降雪地帯にありながら短期間に大都市へと成長できたのか?自然と街と人を通して大都市札幌誕生の秘密とその謎に迫る

5. 展示の基本的な考え方

(2) 展示構成計画

- 「導入展示」では札幌を訪れる誰もが馴染みのある、あるいは市民にとっては意外な、隠れた札幌の魅力^{ふかん}を「北緯43度」という視点から映像で俯瞰的に紹介します。博物館で札幌を学び、札幌を楽しむためのヒントを提供し、「自然史」の視点から札幌の自然・歴史・文化の独自性を総合的・体系的にまとめた3つのテーマ別展示へ思い思いに進むことができるよう誘導します。
- 総合展示については、(仮称)札幌博物館基本計画において札幌の独自性や魅力を伝えるため5つのサブテーマ展示の構成を示していました。本計画の策定にあたり、効果的な展開方法を検討した結果、構成要素に変更はありませんが、テーマの区分けを「札幌の生命と進化」「札幌の自然」「札幌の街と人」の3つとし、札幌の自然・歴史・文化の独自性を体系的・総合的に感じられる展示展開をすることとします。各テーマを解説する展示物の集合体である「メイン展示」や「メイン展示」のなかでも明瞭にして象徴的な注目すべき展示物である「シンボル展示」などを中心にした展開を行い、各テーマのストーリーを途切れなくつなぐための「つながり展示」を設け、どのテーマから見ても楽しい、どこで見終わっても分かりやすい展示動線を提供します。
- 博物館のコレクションや最新の研究成果を展示する小さな企画展示スペースとして、個々のテーマを深める、あるいはタイムリーな話題を取り上げる「トピック展示」を展開し、定期的な展示入替を行います。学芸員の最新の研究成果発表の場として、また市民との共同研究の成果や市民グループの研究成果発表の場として活用し、多様な視点から捉えた「札幌」の姿を常に展示できる場とします。
- 人々の興味・関心を喚起する、多様なテーマで構成する「企画展示」を実施します。また、「子ども展示」では、子どもたちや親子が毎日、夢中で楽しく遊ぶことのできる展示を提供します。
- 館外での展示関連(まちなか連携)事業として、出張博物館を展開する他、市内各地のつながり起点(サテライト)での情報提供、ICTを活用したWebによる情報発信など、札幌の自然・歴史・文化資源を活用した多彩な活動を展開します。

